

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁみりーステーション・クレール		
○保護者評価実施期間	令和 6年12月 1日 ～ 令和 6年12月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 15日 ～ 令和 7年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○プログラムのバリエーション	○担当制による職員間の連携やミーティングによる情報共有を始業時及び終業時に実施することで、プログラムの多様性を検討している。	○療育に関する情報収集 ○関係機関（医療や保育）との連携強化 ○レクリエーション技術の研修参加の促進
2	○個々の児童にあった個別プログラムの実施	○利用児童の個性や障害の把握 ○関係機関との情報共有 ○家族同伴型の療育システムの実施	○関係機関（医療や保育）との連携強化

3	○家族支援	○定期的な家族との面談 ○療育後の家族との情報共有の場の機会確保 ○ペアレントトレーニングの導入	○利用家族同士の情報交換や交流の場の設定 ○家族への情報提供の場となる定例会の開催
---	-------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間の有効活用	○物品の配置の適正化が必要 ○整理整頓が追い付かない	○収納設備の定期的な見直し ○備品やレクリエーション設備の整理整頓の徹底
2	事業所間交流が少ない	○事業所間交流の機会がなかった。	○次年度からの交流機会の確保のため、連携できる事業所について検討している。
3	保護者間の交流機会がない	○保護者のニーズ及び負担感の把握が不十分	○保護者と個別でニーズを把握し、交流や情報交換の在り方を検討して実施につなげる。